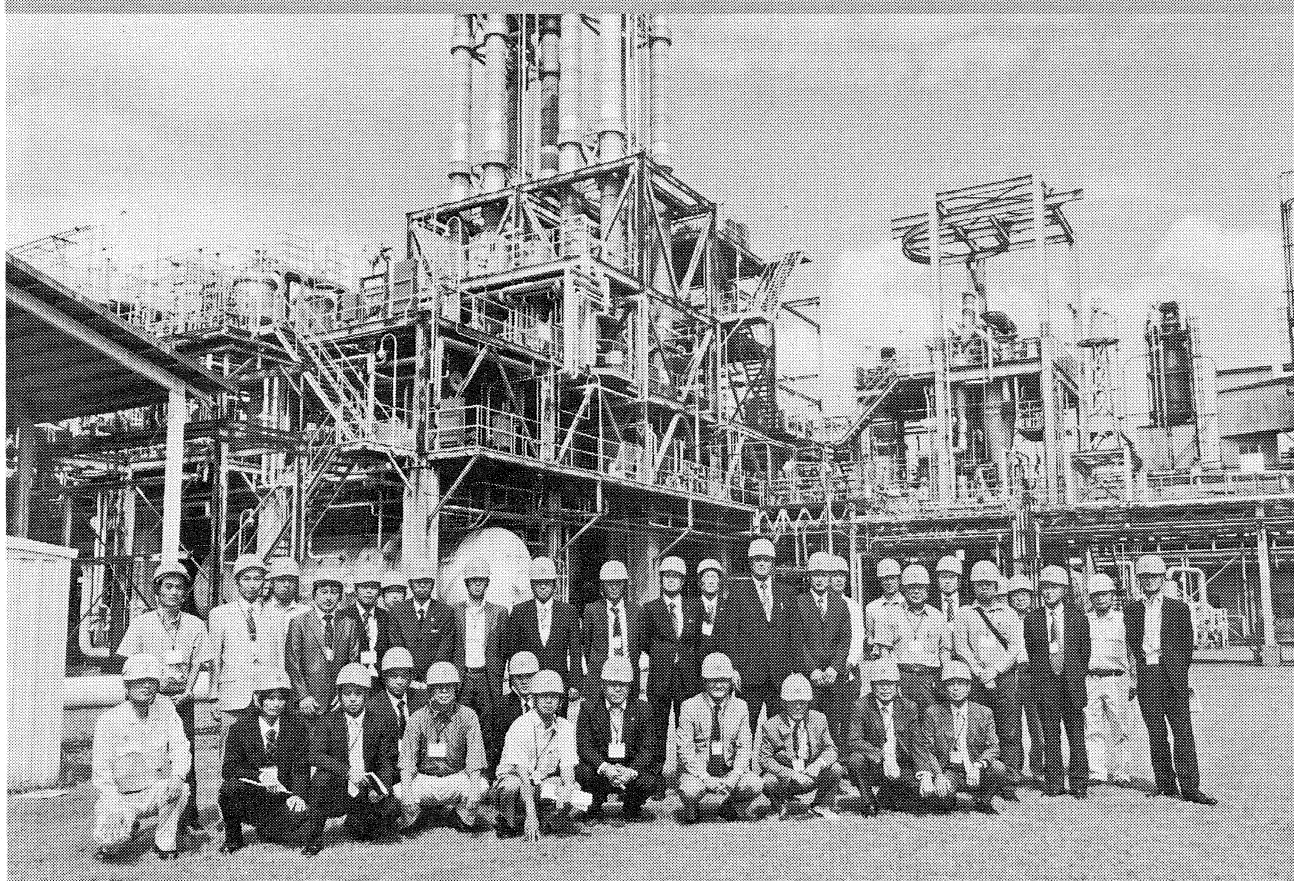


岐阜県の プラスチック

- ・『東ソー四日市』と『HONDA鈴鹿』を視察研修
- ・射出成形の技能検定合格者は1級12人、2級20人
- ・職業能力開発促進大会で受検者と検定委員が受賞
- ・新年互礼会は1月19日に金型工業組合と合同で開催
- ・1月にブロー成形と金型製作の実技技能検定を実施

↓東ソー四日市事業所のポリエチレンプラントを背に記念撮影



四日市と鈴鹿の一貫生産工場を見学

東ソー 四日市 総合石油化学製品の拠点工場

階層式の新車種混合量産工場 HONDA 鈴鹿

工業組合は9月27日、チャーターバスによる視察研修会を実施、三重県にある『東ソー(株)四日市事業所』と『HONDA(株)鈴鹿製作所』を見学した。東ソー四日市は「ナフサから各種樹脂まで総合化学製品を生産する工場」、HONDA鈴鹿は「エンジンから完成車まで新型乗用車を生産する工場」で、いずれも最新の一貫生産工場である。

午前中、一行は東ソーで「成形加工の主原料であるポリエチレン樹脂（HD、LD、LLD、EVA）や塩ビ樹脂を連続操業する大規模プラント」を熱心に見学した。

霞コンビナートの中核 「東ソー・出島形式の臨海工業地帯に」

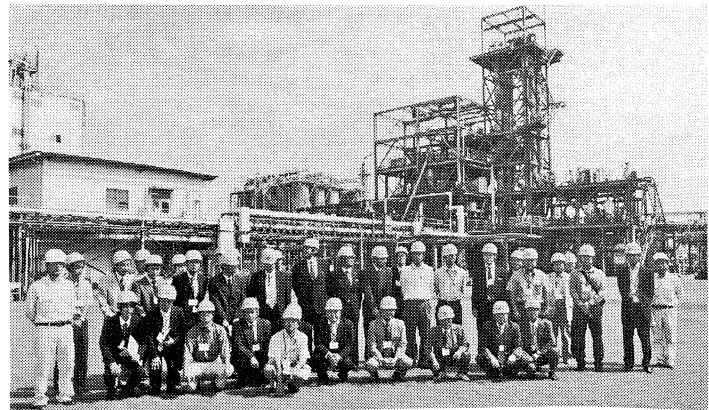
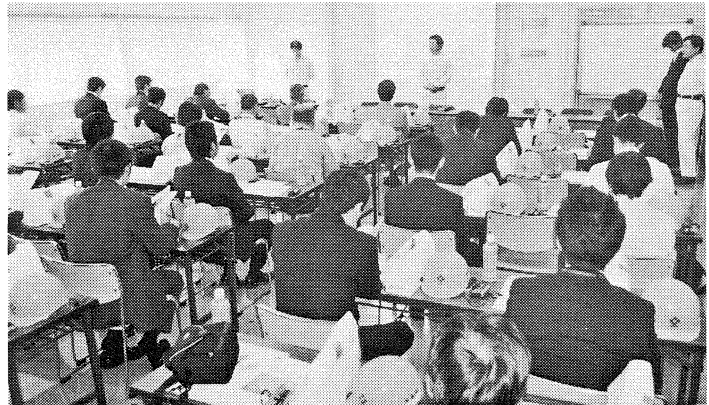
◎…東ソーの事業所は、四日市市霞ヶ浦町沖に出島形式で造成された第3コンビナートの中核工場。東名阪自動車道を出ると、もう湾岸沿いのプラント群が目に入る。関係者は公害訴訟で話題になった「塩浜コンビナート」と異にし「霞コンビナート」と呼んでいる。

東ソーは、霞コンビナートへの出入口・霞大橋を渡り、ポートビルやマリナーとは反対側の南にある。工業組合一行35人は、副事業所長兼ポリマー製造部長の中馬直宏さんらに出迎えられ、最初に研修を受けた。

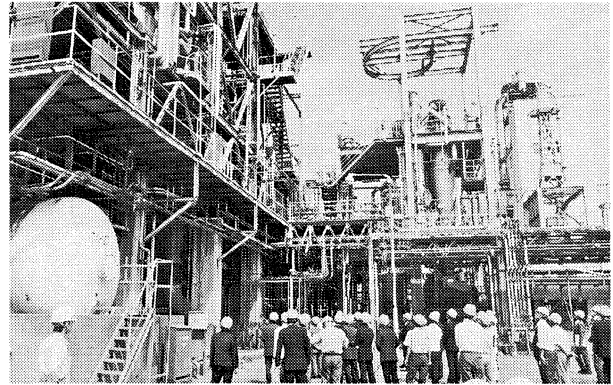
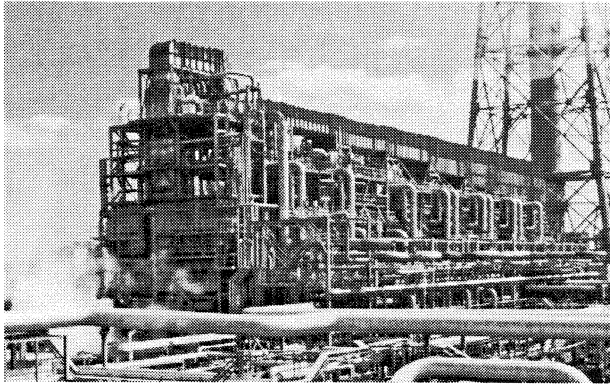
ナフサ分解、関連工場へ供給

◎…研修会は総務課長補佐の一海正美さんから事業所の概要説明、次いで低圧ポリエチレン課長の竹内豊さんからスライドを交えてオレフィン事業、ポリマー事業、さらに研究・開発体制を聞いた。

一海さんと竹内さんは「四日市事業所は東ソーの南陽事業所（山口県・周南コンビナート）と肩を並べる二大事業所の一つ。この四日市事業所は、総合石油化学の拠点工場をめざし昭和45年に操業開始した」と口をそろえる。



東ソー四日市で研修を受け、プラント前で記念撮影



ナフサクラッカー（左）で分解されたエチレンやプロピレンを隣接プラント（右）へ供給

事業所の規模は、霞コンビナートの3分の1、114万平方メートルもあり「ディズニーランドが二つも作れる広さ。各種のプラントは連続操業、出向者含め890人が昼夜交替勤務」している。

事業の流れは、隣接するコンビナートのコスモ石油からナフサ供給を受け→ナフサクラッカープラントにかけ→石化基礎原料のエチレン、プロピレン、B・B留分、分解油などを精製→大洋塩ビ、丸善石油化学などコンビナート内の系列・関連7社へ供給→一方、自社内でもオレフィン・ポリマー事業として各種の樹脂を製品化→この地で唯一のエチレンプラントをもつことから関東・関西の化学メーカーへも製品供給している。

事業と共に省エネや環境改善推進

◎…事業所は総合化学工場としての体制を整え、加えて「省エネ推進、排出物削減、廃棄物

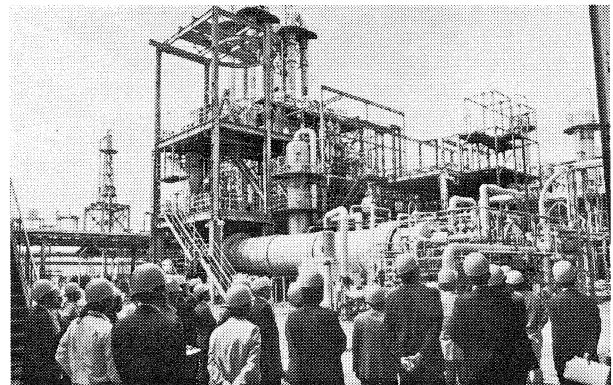
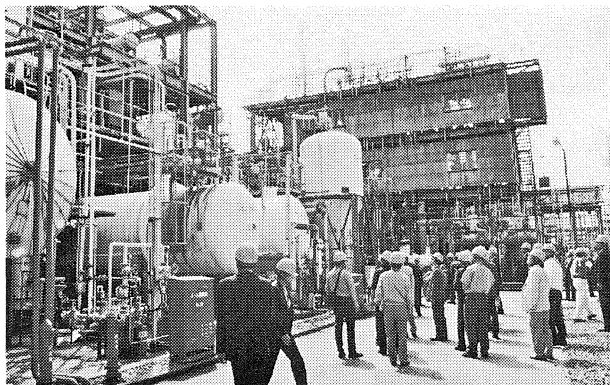
の有効利用とリサイクル、地域への貢献活動に取り組んでいる」と特色を話す。

具体的には①プラントから発生する副生ガスを燃料に年間21万キロワットを自家発電②隣接企業で組織する環境行動推進協議会に参加、天然ガスの通勤バスを運行しエコ通勤③年数回、ライトダウンを実施、工場全体の夜間照明を削減する省エネ活動④緑地化では工場内の芝植生や、対岸住宅街に接する約2.5キロ、幅100～500メートルの霞ヶ浦緑地公園作りに参加—など数多い。

年間50万トンに迫るエチレンを生産

◎…製造工程については竹内さんが「ナフサの分解から製品の出荷、さらに製造した樹脂の特性」を解説した。プラントの見学では「高密度ポリエチレンの製造工程」に始まり、用地に広がるプラントは車上見学となった。

ポリエチレンのプラントは組合員一行の主力



ポリエチレン製造プラントを見学する組合員一行。右上は高密度ポリエチレンの乾燥キルン

使用樹脂だけに関心が高く、詳細に見せてもらった。製造工程の流れは、基幹プラントのナフサクラッカーからエチレン（気体）を受け→重合器による溶媒精製工程→乾燥工程（粉体）→造粒機（ペレット）→を経て包装出荷する。

エチレン生産は年間49万3千ト、隣接するプラントでポリエチレン（HDPEは12万5千ト、LDPEは10万3千ト、他にL-LDPE、EVA）を精製、さらに所内の太陽塩ビ、丸善石油、日本エタノールへ化学原料として供給。付加価値の高いプロピレンは28万8千トを生産、フェノール原料になるキュメンを再加工、また協和発酵ケミカルへオキソアルコールの原料用に、日本ポリプロへはポリプロピレン原料用に供給している。

ールへ化学原料として供給。付加価値の高いプロピレンは28万8千トを生産、フェノール原料になるキュメンを再加工、また協和発酵ケミカルへオキソアルコールの原料用に、日本ポリプロへはポリプロピレン原料用に供給している。

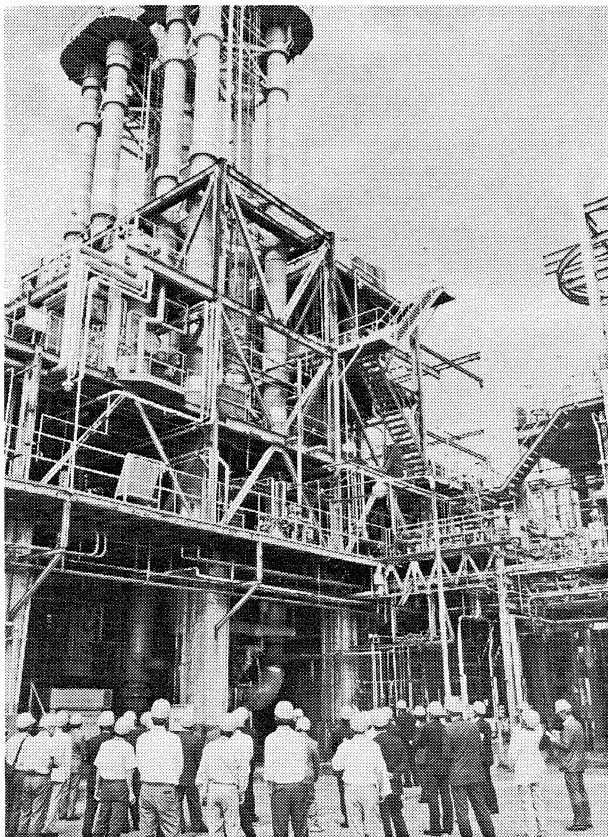
副生物を有効活用する新事業開始

◎…副生するB・B留分は事業所自身が誘導品を有効活用する新事業として「t-B Aプラント」を新設し、ターシャリ・プチルアルコールを生産開始（7万ト）した一方、J S Rへ合成ゴムの主原料として供給している。

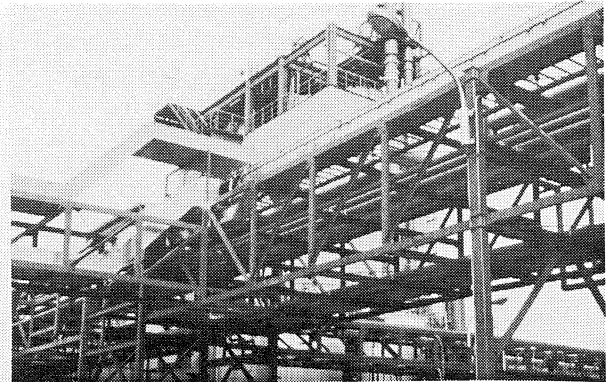
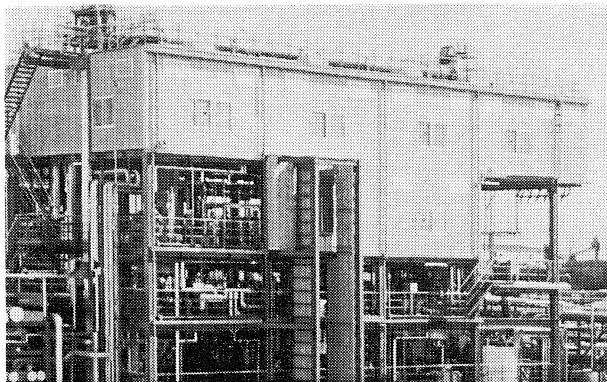
さらに副生固形物を有効活用する新事業として「ジルコニア粉末プラント」によるジルコニア粉末を生産開始、続く「ハイシリカゼオライトプラント」では、自動車排ガス処理触媒など環境浄化分野で需要が見込まれるハイシリカゼオライトを生産開始、軌道へ乗せている。

見学は直線道路1.5kmを往復しながら石化製品の開発拠点・研究所→芳香族系石油樹脂のプラント→年間25万4千トの塩ビを生産する大洋塩ビではエチレンタンクや原料の塩山→コンビナート南端の荷揚げ埠頭→続いて低密度ポリエチレンのプラント→を見て回った。

なお、東ソーの岐阜県担当者は本社ポリマー事業部・グループリーダーの佐古慶治さん。連絡はTEL03-5427-5141、FAX03-5427-5208まで。



ナフサ誘導品を有効活用するt-BAプラント



新稼働の排ガス処理剤ハイシリカゼオライトと新セラミックス・ジルコニア粉末のプラント

マザー工場の役割担う

「HONDA・鈴鹿サーキットに隣接」

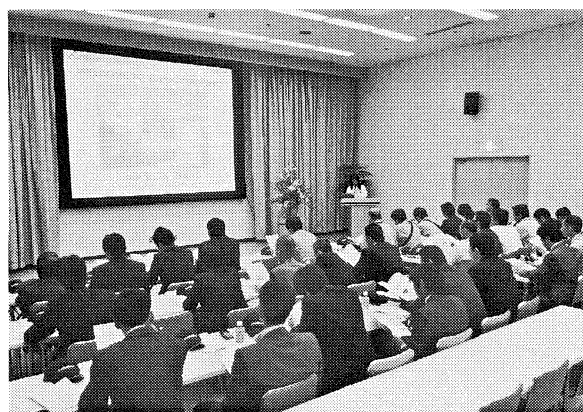
◎…視察研修の午後はHONDAの鈴鹿製作所。鈴鹿市の臨海工業地帯、車で数珠つなぎの国道（1号、23号）を横切って30分。工場は鈴鹿サーキットと鈴鹿川に挟まれた約89万平方メートル「内陸部にこんな広い用地が…」と、誰もがまず感心させられた。

見学担当の女性・蓑浦さんと田中さんに迎えられる研修センターに入り、工場の生い立ちや概況を聞いた。主任の蓑浦さんは「鈴鹿製作所は国内3番目のエンジンから完成車までの一貫生産工場。かつてはスーパーカブ号を量産した栄光の工場です」と工場の生い立ちを話す。

減産体制中でも1日1,650台生産

◎…説明によると、昭和35年に2輪車カブ号の量産工場としてスタート、同42年に軽4輪の組立ラインを新設、順次、2輪車から初代シビックなど4輪車の主力工場へと成長した。

平成15年には、高精度の組立ロボットなど新鋭機器を随所に導入した組立ライン二本（第1、第3）が完成した。今日では1,400台のロボットマシンが活躍しているが、リーマン・ショックの余波やエコカー補助金終了を見越し減産中で、1日1,650台（第1ライン550台、第3ライン



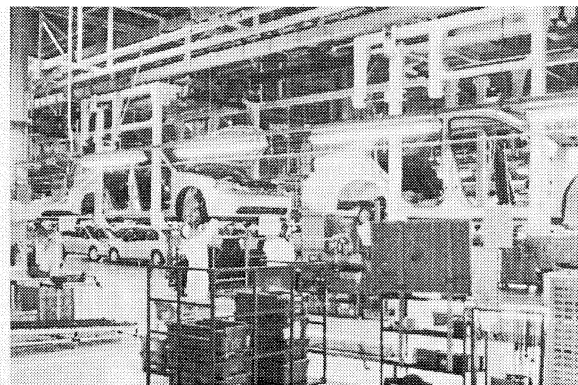
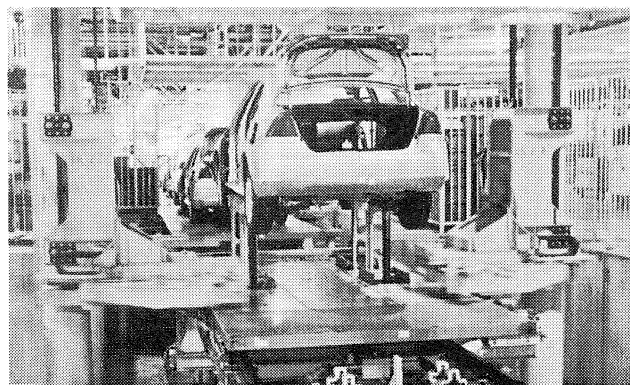
HONDA鈴鹿のモニュメントと研修中の組合員

1,100台)の生産にとどまっている。

現在は「シビックやフィットなどベストセラーカーばかり5車種、7,200人の従業員が生産に取り組んでいる」という。

話題のハイブリット車など5車種

◎…見学したのは話題の各種ハイブリット車が流れる車体組立第3ライン。「インサイト」に続く発売直前の新型「フィット」や「CR-Z」



組立ラインを階層式としスペースを有効活用している。海外の新工場建設のモデルになった

が姿を整えながら進んでいく。

組立のコンベヤーラインは、プレス工程から溶接→塗装→組立→検査まで一直線。その全長は897㍍、見学コースは半分の組立ヤードまで「残る半分は外観、機器類、排ガス、雨天を想定したシャワーテストなど450項目にのぼる完成検査ヤード」で、出荷場への出口ははるか先に霞んで見えた。

エンジンは2階から降り組み付け

◎…エンジン工場は別棟の北側にあり、アルミ合金の鋳造→機械加工→熱処理の各工程を経て、各部品はラインの二階フロアにまとめ、エンジンとして組み立てた後、ラインの上から組み付け場所へ降りてくる。

荻浦さんは「この一直線に並んだ生産ラインと階層式の生産方式は、海外での新工場建設モ



新発売前のハイブリット車。展示ルームで

デルやマザー工場になった」と誇る。階層式は1、2階を立体的に組み合わせスペースを有効に活用でき、一直線の生産ラインはリードタイムを短縮、パーツ類のユニット化も図りやすく「多車種の混合生産」を実現している。

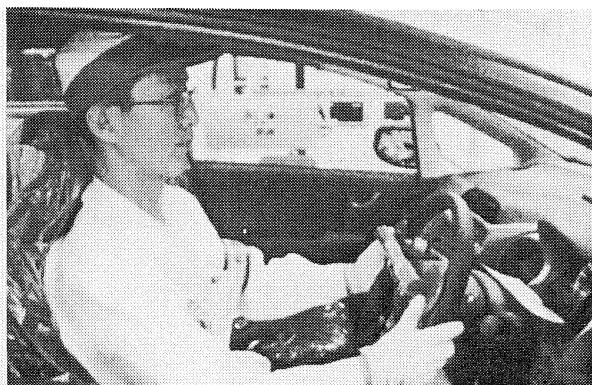
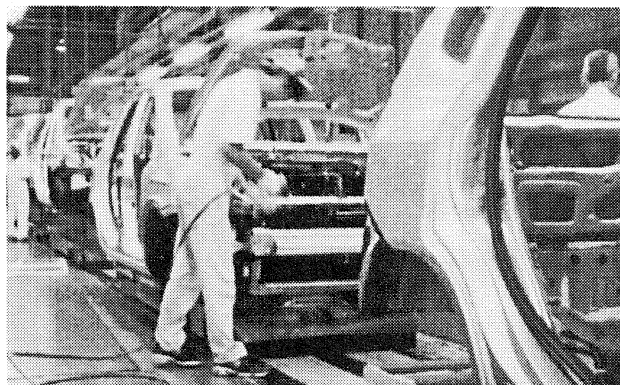
この結果、第3ラインの移動スピードは100㍍47秒に短縮、スタートの部品投入から約1時間で車が完成している。

最後に荻浦さん「工場あげて取り組むグリーンファクトリー構想」を紹介した。

工場取り巻くふるさとの森づくり

グリーンファクトリー構想は「資源効率の向上、廃棄物有害物質のゼロ化、CO₂排出量削減などを業界トップレベルで達成」する活動。すでにコ・ジェネレーションシステムにより使用電力2割削減、塗装の水性化、ふるさとの森づくりで成果をあげている。

ふるさとの森づくりは、延長4㍍を超える工場周囲を幅数㍍の緑の樹木で囲んで、自然と社会の調和をめざす取り組み。樹木はこの地方に生えている杉、楠、椎、榎の木。すでに10万本近くが自然の森のように育ちつつある。鈴鹿製作所には組立ラインの南に1周1.8㍍のテストコースが設けられているが、コース全体を自然の森が覆いかぶさっていた。



組立ラインは全長897㍍の一直線。プレス→溶接→塗装→車体組立→検査を経て完成出荷

「ヒューズに工組賞贈る」 岐阜県発明くふう展開催

『岐阜県発明くふう展』が10月末、岐阜市内のマーサ21で開かれた。岐阜県、岐阜市、発明協会が共催し、各業界団体が協賛した。出品は会社の部12点、一般の部23点など、300点を超えた。



上は軟質ダンパー。右はヒューズと接着剤

「高安(株)が炭素繊維のリサイクルを紹介」 「楽市楽座APEC国際見本市開く」

APECの中小企業大臣会合が岐阜市で開催されたのを機会に、10月1日から3日間、岐阜メモリアルセンターで『楽市楽座APEC国際見本市』が開かれた。また、大臣会合の会場になった岐阜都ホテルでは『岐阜県産業と伝統工芸品』のロビー展も開かれた。

いずれも「中小企業の海外展開支援とビジネスマッチング」で、見本市にはアジア太平洋地域12カ国から30企業・団体、岐阜県など国内から88企業・団体が参加した。会場は環境など部門ごとに展示、プラスチック関連では11社が合同出品した韓国ブースの成形製品、また環境関連で組合員企業の高安(株)が「炭素繊維のリサイクル技術」と国際企業のイツワ商事(株)「再生

審査の結果、組合員のカイインダストリーズ(株)の「軟質バンパー」は機械金属協会賞を受賞し、当工業組合の理事長賞は太平洋精工(株)の「自動車用ヒューズ」に贈った。

カイ(株)が5枚刃替刃を出品し受賞

カイインダストリーズの軟質バンパーは、新開発の5枚刃システム替刃に採用した「エラストマー樹脂製のバンパー」で、肌へ密着しヒゲを立たせて剃りやすくしている。

太平洋精工の自動車用ヒューズは「互換性を保ち小型・軽量化したため、従来のボックスに取り付けると見にくいので、本体の色を上から視認できる」ようにした。一般の部では富士コンクリート(株)の「廃棄物を再利用した樹脂化製品」が受賞している。焼却処分されていた使用済み発泡スチロールの新たな活用方法で「ゾル化、硬化剤で樹脂化し砂利、陶磁器屑、木材屑などの接着剤」として活用した。

技術を活用した環境配慮素材」を紹介した。

ロビー展は岐阜プラスチック工業(株)、八幡化成(株)2社がオリジナル製品を出展、岐阜県の成形加工業界をアピールした。

高安が開発した炭素繊維リサイクルは「使用



国際見本市と高安(株)のブース

済の工程屑や廃材から炭素繊維だけ取り出す新技術で、再生後にカット、不織布などファイバー製品を試作している。

22年度前期 の技能検定 射出成形の合格者は1級12人、2級20人

平成22年度前期技能検定『プラスチック射出成形作業』の合格者発表があり、全県で1級12人、2級20人が合格した。前年実績に比べ1級は1人増えたが、2級は7人も少なかった。合格率は1級27.9%、2級25.0%と低かった。次は組合員企業の合格者名と会社名。

《1級》

酒井 崇介 (ムトー精工(株))

藤森 昭 (ムトー精工(株))

菊川 雅司 (ムトー精工(株))

富成 大祐 (コダマ樹脂工業(株))

可知 政幸 (メルコファンプロダクツ(株))

長島 悟 (メルコファンプロダクツ(株))

松村 保 (ムトー精工(株))

中井 均哉 (コダマ樹脂工業(株))

《2級》

松崎 真也 (岐阜プラスチック工業(株))

荒木 武徳 (岐阜プラスチック工業(株))

今井 悠平 (岐阜プラスチック工業(株))

堀 友行 (岐阜プラスチック工業(株))

片桐 吉則 (岐阜プラスチック工業(株))

下嶋 一輝 (ムトー精工(株))

速水 広紀 (ムトー精工(株))

藤川 幹夫 (ムネカタ(株))

青木 宏充 (岐阜プラスチック工業(株))

堀 達也 (コダマ樹脂工業(株))

山田 義孝 (ムトー精工(株))

大館 武弘 (山一化成(有))

職業能力促進大会開く

検定委員2人、検定受検者5人が受賞

県と県職業能力開発協会は11月17日、未来開館で『岐阜県職業能力開発促進大会』を開催した。大会は「職業能力開発の重要性と技能尊重の社会的気運高揚」を図るのがねらいで、席上では表彰式(写真右下)が行われ卓越技能者、職業訓練功労者、技能検定功労者、技能検定成績優秀者ら合計263人が受賞した。

工業組合関係では、次の技能検定功労者2人、技能検定成績優秀者として5人が表彰された。次は受賞したみなさん。

《岐阜県知事表彰》

▽技能検定功労者

・近藤 善彦 (ムトー精工(株))

《岐阜県職業能力開発協会長表彰》

▽技能検定功労者

・西谷 誠志 (ムトー精工(株))

《技能検定成績優秀者協会長表彰》

▽プラスチック金型製作1級

・田中 英則 (ムトー精工(株))

▽プラスチック射出成形1級

・酒井 崇介 (ムトー精工(株))

▽プラスチック射出成形2級

・片桐 吉則 (岐阜プラスチック工業(株))

・青木 宏充 (岐阜プラスチック工業(株))

▽ブロー成形2級

・加藤 寛隆 (コダマ樹脂工業(株))



ブロー成形と金型製作

新年1月に後期技能検定を実施

平成22年度後期の実技技能検定試験が実技・学科とも新年1～2月に実施される。工業組合が委託実施する『プラスチック成形・ブロー成形』は1月25日から、また『プラスチック成形用金型製作』は1月26日に実施する。

ブロー成形は神戸町のコダマ樹脂工業(株)本社工場で実施する。受検予定者は1級3人、2級

6人の計9人で、実技の検定は1日2人ずつ5日間予定している。金型製作は1級1人、2級は5人が受検予定している。今年度の検定会場は、美濃加茂市上蜂屋にある岐阜県立国際たくみアカデミーで実施する。

この他、職業能力開発協会が実施する職種として『プラスチック特級』と『機械検定』の検定試験も行われる。

なお、後期技能検定は2月の学科試験を経て3月15日(火)に合格発表がある。

特許の活用を支援

岐阜県知的所有権センターで

岐阜県では特許庁の認定を受けて『岐阜県知的所有権センター』を開設、特許・実用新案、意匠・商標など各種特許情報提供サービスを開始している。同時に「特許流通アドバイザー」

「特許情報アドバイザー」による特許流通・技術移転の仲介、相談及び普及啓発や開放特許情報の提供にも取り組んでいる。

これは「特許を取得しても実用化に困ってい

る」「新規の事業開発をスタートさせるために使える特許シーズを知りたい」「特許や商標の検索方法を知りたい」「社内研修で社員のレベルアップを図りたい」などに応ずる無料相談事業で、企業家に利用と活用を呼びかけている。

特許流通や技術移転を支援し促進

《特許流通アドバイザー》社団法人発明協会から派遣された特許流通・技術移転の専門家が担当する支援事業。特許を活用した①他企業との関係作りや技術導入を考える企業②技術シーズを受けたい企業への相談に応じ「マッチングによる特許流通の促進支援」を行う。

特許流通アシスタントアドバイザーも設置し具体的な指導事業も実施している。

特許情報の入手や活用を支援する

《特許情報アドバイザー》一般財団法人日本特許情報機構から派遣された特許情報活用の専門家が担当する支援事業。中小・ベンチャー企業が①特許情報を効果的に活用②技術開発や特許取得・管理業務を実施—できるように特許情報検索に必要な基礎知識から出願・登録情報の入手や特許情報の活用について相談に応ずる。他に企業訪問や出張相談も行っている。

関連機関サイト

特許庁
<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>
(独)工業所有権情報・研修館
<http://www.inpit.go.jp/>
(社)発明協会
<http://www.jiii.or.jp/>
(社)発明協会岐阜県支部
<http://www.jiiigifu.jp/>
(財)日本特許情報機構
<http://www.japio.or.jp/>

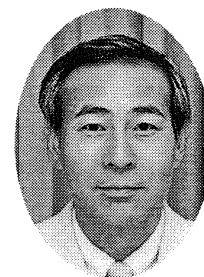
お問い合わせ先

岐阜県知的所有権センター
〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ一丁目1番地 テクノプラザ5階
TEL 058-379-2250 FAX 058-379-2234

工業組合・新年1月19日(水) 岐阜グランドホテルで

金型工業組合と新年互礼会を共催

講演会は医学博士の石蔵文信大阪大学大学院准教授を招く



工業組合は新年1月19日(水) 岐阜グランドホテルで『新年互礼会と講演会』を開催する。今回は例年と異なり、関連業界の岐阜県金型工業組合と共同で開催、成形加工と金型両業界が親睦を図り、新たな業界相互の事業連携を推進していく。

新年互礼会は午後4時30分からの講演会でスタートする。講師は大阪大学大学院医学系研究科の石蔵文信准教授(医学博士)で『女房に捨てられないための中年力』というユニークなテーマのもと、生活習慣病対策、メタボ対策、ウツ予防など経営者に欠かせない健康対策を話してもらう。

石蔵講師は三重大学医学部卒、国立循環器病センターなど医学関連施設で勤務後、大阪大学医学部、同大学院で助手、講師、

助教授を勤められた。現在は大阪大学大学院医学系研究科の医療技術科学分野と講師の石蔵さん機能診断科学講座の准教授として活躍されている。

100人を超える大パーティーに

続く午後6時から開催する互礼会は、当工業組合から児玉栄一理事長はじめ約50人の参加を予定、一方、金型工業組合からも黒田隆理事長ら約50人の参加を予定し、100人を超える大パーティーとなる。

互礼会には岐阜県はじめ官公庁・団体の関係者や両工業組合の賛助会員らを来賓として招き、金型と成形加工業界の合同開催を機会に一層の交流と親睦を深めていく。

1月に商標テーマのセミナー開催

日本弁理士会東海支部は新年1月23日(土)午後1時30分から岐阜県民ふれあい会館301中会議室で『おっとアブナイ!!その商標』をテーマに休日セミナーを開く。講師は知的財産支援キャラバン隊の木村達矢弁理士。

特許や商標制度の無料相談会開設

(社)発明協会岐阜県支部は各務原市テクノプラザの科学技術図書館で『特許、商標制度の定例無料相談会』を開設している。

新年の相談予定日は、1月4、11、18、25日。2月は1、8、22日。3月は1、8、15、22、29

日。いずれも火曜日の午後1時から4時までで、専門の弁理士が担当する。

『官公需総合相談センター』開設

「平成22年度中小企業者に関する国等の契約の方針」に基づき全国中央会と各都道府県の48ヵ所(岐阜県は県中小企業団体中央会)に『官公需総合相談センター』が開設された。

国の機関や独立行政法人の官公需に関する仕事探しをする中小企業者を支援している。

業務内容は「官公需情報ポータルサイトを活用した情報の提供」「中小企業者からの官公需情報に関する問い合わせや対応」など。相談は面接、電話、メールなどで無料受付。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□互礼会は金型工業組合と合同開催

前頁で紹介しましたように工業組合の『新年互礼会と講演会』は、岐阜県金型工業組合と合同開催することにしました。プラスチックの成形加工業界と金型加工業界が親睦を深めて連携し、岐阜県業界の発展を目指すねらいです。

また恒例の講演会は、趣を変え医学博士の石蔵文信さんを講師に招き「女房に捨てられないための中年力」をテーマに、幅広く医食の話を聞きます。円高不況克服に向けて、経営者としての体力づくりに役立ててください。

□組合ゴルフ大会で大野さんが優勝□

工業組合は10月29日、岐阜関カントリー倶楽部・東コースで『第18回理事長杯争奪ゴルフ大会』を開きました。

参加者は4パーティー14人で大野實さん（㈱東海ポリエチ）が優勝しました。準優勝は賛助会員企業の宮城智治さん（東洋インキ製造㈱）3位は藤井理宏さん（㈱A.P.C）でスコアは伯仲し、親睦を深めました。

□県最低賃金は時間額で706円に□

岐阜労働局は県内で働くすべての労働者に適用される岐阜県最低賃金を「10月17日から時間額706円（これまでの額に10円引き上げ）」としました。

この最低賃金額は常用・臨時・パート・アルバイトなど、雇用形態に関係なく全労働者に適用されます。したがって制度に反する労働協約は無効とされ、最低賃金額と同額の定めをしたものとみなされます。

詳細は岐阜労働局労働基準部賃金室（058-245-8104）か最寄りの労働基準監督署へ問い合わせください。

ネットで検索『中小企業支援施策利用ガイドブック』をご活用ください。

- ガイドブックは、主に中小企業者の方が中小企業支援施策をご利用になる際の手引書とし、主な施策（県や県の外郭団体等が実施しているもの）の概要をご紹介します。
- 巻頭の『インデックス（支援制度、利用者ニーズの分類別）』により利用される方のニーズに合わせて支援施策を探ることができます。
- 方法は検索機能で『岐阜県中小企業支援施策利用ガイドブック』と入力、検索してください。

支援制度	概要
融資	◇運転資金、設備資金等の貸付け
割賦・リース	◇設備を割賦又はリースによる貸与
出資	◇中小・ベンチャー企業への投資
補助金・助成金・奨励金	◇各種補助金等
認定・承認・登録	◇特定の支援を受けるに当たり必要となる法律等に基づく認定等
分譲地	◇工業団地の分譲
施設利用	◇事務所、技術開発室、研究室、工場、研修室等の貸出しや試験研究機関等の利用
機会提供	◇展示会、商談会、交流会の開催等によるビジネスマッチングの場の提供
相談・助言	◇各種相談への対応、商品等に対する評価、研究開発・試験の受託 ◇専門家の派遣
研修	◇各種研修、講演会等の開催 ◇資料室の開放

岐阜県商工労働部商工政策課 〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1 TEL 058-272-1111（内線3044、3045）

不況克服、プラスチック業界の

飛躍をめざそう



たん水した徳山湖、遠望は能登白山

岐阜県プラスチック工業組合 役員一同



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 栄一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守377の1
電話〈0584〉27-4141

支店 東京、大阪

営業所 本社

工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中7丁目129番地 〒501-6004
TEL (058) 246-1313 番(代)
FAX (058) 247-2411 番

名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 〒451-0031
TEL (052) 521-9296 番(代)
FAX (052) 532-1664 番

浜松事業所 浜松市西区入野町6056 〒432-8061
TEL (053) 447-2511 番(代)
FAX (053) 447-4248 番

業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計製作



大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役

日比勝次

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
〒503-0001 ☎(0584)81-1347(代)
精工部 ☎(0584)75-0333(代)
FAX(0584)81-1350

E-mail : ogaki-pla@okbnet.ne.jp



株式会社 武藤化成工業所

代表取締役 武藤 幸平

本社 〒501-2605 岐阜県関市武芸川町跡部781
TEL<0575>46-3711 FAX<0575>46-2285

第2工場 〒501-2605 岐阜県関市武芸川町跡部972
TEL・FAX<0575>46-2720



アテカ工業株式会社

代表取締役社長 下野 泰輔

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
TEL(0575)24-2424 (代表)
〒501-3217 FAX(0575)24-0567
URL:<http://www.athena-kogyo.co.jp>



株式会社 川瀬樹脂工業
エンジニアリング
プラスチック成型加工

代表取締役会長 川瀬 保雄

E-mail:y-kawase@sunthree.co.jp
URL:<http://www.sunthree.co.jp>

〒503-0011 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地
TEL : 0584-27-2566 FAX : 0584-27-5956

岐阜技研ポリマー
株式会社

代表取締役社長 篠田 治

岐阜市岩地3-7-15
TEL 〈058〉246-2541
FAX 〈058〉246-2081



ukal caster

Sanken

代表取締役社長
林 敬一郎

岐阜産研工業株式会社
岐阜県揖斐郡大野町公郷 1403 番地


リスのステスチック

岐阜プラスチック工業株式会社

代表取締役社長 **大松 利幸**

本社 岐阜市神田町9丁目27番地(大岐阜ビル12階)
〒500-8721 ☎ <058> 265-2231(代)

生産本部 各務原市前渡東町4丁目222番地
〒504-8702 ☎ <058> 386-9311(代)




関プラスチック工業株式会社
株式会社 セキプラ
プラスチック製品成形加工・プラスチック精密金型設計製作

代表取締役
洞 田 禮 彰

〒501-3904 岐阜県関市明生町2-7-10
TEL <0575> 22-4352(代)
FAX <0575> 24-5131
E-mail: office@sekipla.co.jp

ポリエステル、ナイロンをリサイクルする
タナジン®(ナイロン樹脂)
サイクリン® アラフノン® ポビン資材回収




高安株式会社

代表取締役社長 **高安 義英**
<http://www.takayasu-rf.co.jp>

本社 〒504-0828 各務原市蘇原村雨町3-47 ☎ 058-382-2231
坂祝工場 〒505-0071 加茂郡坂祝町黒岩1516 ☎ 0574-26-4171

独創技術で複合材の明日を拓きます




天龍コンポジット株式会社

代表取締役社長 **大竹 正泰**

〒509-0304
岐阜県加茂郡川辺町中川辺1430番地1
TEL 0574-53-2351
FAX 0574-53-2354

プラスチック原料の着色加工



株式会社 **ニッセキ**

代表取締役社長 **石原 良美**

本社・工場
〒503-0641 海津市海津町内記194
TEL (0584) 53-0238
FAX (0584) 53-0359
nskkaizu@octn.jp



代表取締役
杉山 元彦

各種プラスチック真空成型加工



パール化成株式会社

本社・工場 〒501-0473 岐阜県本巣市温井243-3
TEL (058) 324-9155(代) FAX (058) 324-6221
岐阜工場 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
TEL (058) 271-0861(代) FAX (058) 275-0970
E-mail info@pearl-kaseihin.co.jp
URL <http://www.pearl-kaseihin.co.jp/>



Hachiman kasei co. ltd plastic products

代表取締役社長
高垣 美代子

八幡化成株式会社

本社・工場 〒501-4204 岐阜県郡上市八幡町旭182番地
TEL <0575> 67-1175 FAX <0575> 65-5150
福岡OFFICE 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東
2丁目9番13号東福ビル4F
TEL <092> 483-1514 FAX <092> 483-1808
<http://www.hachimankasei.co.jp>
e-mail info@hachimankasei.co.jp
miyoko-t@hachimankasei.co.jp



ムト-精工株式会社

代表取締役 田中 肇

本社工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-60-1
TEL(058)371-1100(代) FAX(058)371-2593
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-93
TEL(058)383-8311(代) FAX(058)383-1516



TOKAIKASEI Inc.

代表取締役 兼
CEO

宇野 兼史

株式会社 東海化成工業所

本社 〒501-2101 岐阜県山県市大桑4370
TEL(0581)27-2111 FAX(0581)27-2915
○水尾工場 〒501-2101 岐阜県山県市大桑310-1
TEL(0581)22-3302 FAX(0581)22-1288



URL: www.tokaikasei.co.jp E-mail: kenjun@tokaikasei.co.jp
携帯電話 090-9124-6518



プラスチック原料製造販売
委託加工及びカラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田 健司

〒501-3763
岐阜県美濃市極楽寺 1 4 5 1 - 1
TEL(0575)33-1888 FAX(0575)33-1618
E-mail:mk1451@ceres.ocn.ne.jp

岐阜県のプラスチック 2010年 第202号

平成22年12月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大塚 忠秋

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

ニューコン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス繊維強化ポリプロピレン

 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

地球快適化研究所。



20世紀から持ち越されたさまざまな問題を解決し、トータルなライフステージを快適化するものが21世紀の化学の仕事です。三菱化学グループは、世界でも比類のない幅広い技術フィールドをカバーする先端技術多面体です。先端機能材料やナノテクノロジー、有機エレクトロニクス、デバイス。ヒューマン・ヘルスケアでは、ゲノム創薬やタンパク質機能解析…など、多数の分野にチャレンジしています。私たちはグループの技術力をベースに、社会のニーズに応えるソリューションを提供しながら、21世紀の夢をスピーディに実現します。

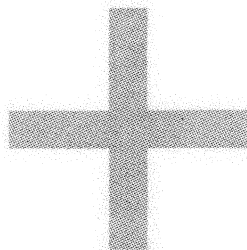
▲三菱化学株式会社
Telephone:03-6414-3000
URL:http://www.m-kagaku.co.jp

ShinEtsu

信越シリコーン

またひとつ、新機能。

[プラスアルファ]



ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつものヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

■ 樹脂改質用シリコーン
オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に
*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターバレットもあります。

■ シリコーン離型剤
オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

■ シランカップリング剤
合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

■ シラン
セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

信越化学工業株式会社

〒450-0002 名古屋市 中村区 名駅 4-5-28 近鉄新名古屋ビル
名古屋支店 シリコーン部 (052) 581-6515

雨水利用タンク

ホームダム

RWT-250

ご家庭で雨水の有効利用に!

異常気象からの水不足、あるいは集中豪雨…。水の大切さを見直す時が来ていると思います。自然のめぐみ雨水をもっと活かして使うことを考えましょう!!庭の草・花・木への水やり、洗車などまだまだたくさん活用出来ます。



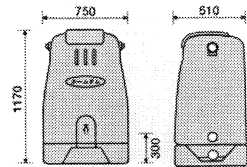
1 専用付属部品で簡単施工
(丸型トイレ 55%・60%・75%)

2 ドレン付で簡単清掃

3 架台付きです
(別架台はオプション)

4 水道料金の節約
(例) 某市で料金200円/㎡を納めているご家庭では、
・ホームダム1杯(250ℓ)約50円
・週に2杯溜めると約400円/月
・年間では約4,800円
が節約出来ます。

5 雨水タンク転倒防止用
Uポート金具付です



■製品仕様

容量	250ℓ
質量	約22kg
材質	超高分子量ポリエチレン



コダマ樹脂工業株式会社

本社 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4141
 本社営業部
 容器包材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-4992
 産業資材G 〒503-2393 岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL(0584)27-5055

東京支店 〒104-0031 東京都中央区京橋1-16-10(オークビル京橋) TEL(03)3564-5266
 大阪支店 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2丁目5番2号(新サンケイビル7階) TEL(06)6341-0015